

令和6年度(令和5年度実施事業分)主要事業評価シート							No.	28-1
PDCA	主要事業名	水道施設地震対策事業	部課名	水道部上水道課	担当			石川
					内線			493
P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 4 - 1 - 1 単位施策： 防災・減災							
	全体事業期間： 令和 3 年度 ～ 12 年度 全体事業費等： 2,810,913 千円							
	会計		水道事業会計		歳出科目： 01.01.01（資本的支出）			
	事業概要等	事業概要： 大口径配水管改良工事、配水管改良工事を実施し、基幹的な管路の耐震化を進めるとともに、透析医療機関等の重要給水施設への路線を耐震性の高い管路として整備する。						
		事業目的： 大規模地震等の被災時において早期の給水が求められる透析医療機関や避難所などの重要給水施設への水道水を確保する。						
		事業内容： 大口径配水管改良工事（青山三丁目地内ほか） 配水管改良工事（岩滑東町四丁目地内ほか）						
		問題点・ 市内へ水道水を供給するための基幹的な管路であるため、大規模地震等の被災時等： 災時に備え、早期に管路の耐震化を実施する必要がある。						
	予算額	主要事業とする理由						
	374,110 千円	市内へ水道水を供給するための基幹的な管路を早期に耐震化するとともに、透析医療機関等の重要給水施設への路線を耐震性の高い管路として整備し、大規模地震等の被災時に強いライフラインの構築を図るため。						
	財源内訳	得られる成果						
	市費 7,003 千円	市内配水管網の基幹となる管路（主にφ300mm以上の配水管）の耐震性の向上を図ることにより、大規模地震等の被災時に、被害を最小限に留め、長期の給水制限を避けることができる。また、応急給水及び応急復旧活動へ速やかに移行することができる。						
国費 0 千円	目標値や目指すべき状態							
県費 0 千円			令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位		
その他 367,107 千円	水道管（φ300mm以上）の耐震化率	実績値	85.5	86.9	—	%		
		目標値	86.6	87.1	88.7	%		
		実績値						
		目標値						
		実績値						
		目標値						
D 実績値と得られた成果と	決算額	得られた成果						
	367,921 千円	市内配水管網の基幹となる管路の耐震化、および透析医療機関等の重要給水施設への路線における耐震性の高い管路整備については、ほぼ計画どおり実施することができた。						
		成果指標				令和5年度	単位	
	水道管（φ300mm以上）の耐震化率	実績値		88.5		%		
		目標値		88.7		%		
C 課題の整理	事業の評価・課題	現状維持						
		大口径配水管改良工事については、昭和40年代に布設された耐震性に劣る配水管の布設替工事等を計画どおり実施し、目標を概ね達成することができた。また、避難所や透析医療機関等の重要給水施設への管路整備についても計画どおり実施し、令和5年度で全施設への供給ルートの耐震化は完了した。 今後は、残る耐震性に劣る基幹管路の耐震化工事を継続して実施し、2系統（バックアップ機能）を確保をすることにより、大規模地震等に備えた強靱な水道の構築を図る必要がある。						
A 課題の解決に向けた	今後の事業の方向性	現状維持						
		大規模地震により水道の被害が想定されるなか、被災時のライフラインを確保することは市民の関心が高いところである。耐震管は、東日本大震災でもほとんど被害が発生しておらず、その耐震性能は高い評価を得ていることから、被災時に通水機能を確保する基幹管路の耐震化は必要不可欠であり最重要課題として積極的に継続して進めていく。						
	観点別評価	必要性		有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減	ある	
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある	減余地	※対象・手段の変更	
	③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	ない		
目標項目（予算計上時に作成）								
評価項目（決算時に作成）								
主要施策の成果報告書で活用								